

家畜ふん尿処理過程からの肥料成分の回収・利用技術

家畜ふん尿に含まれる肥料成分を回収し、利用する技術を開発

期待される効果

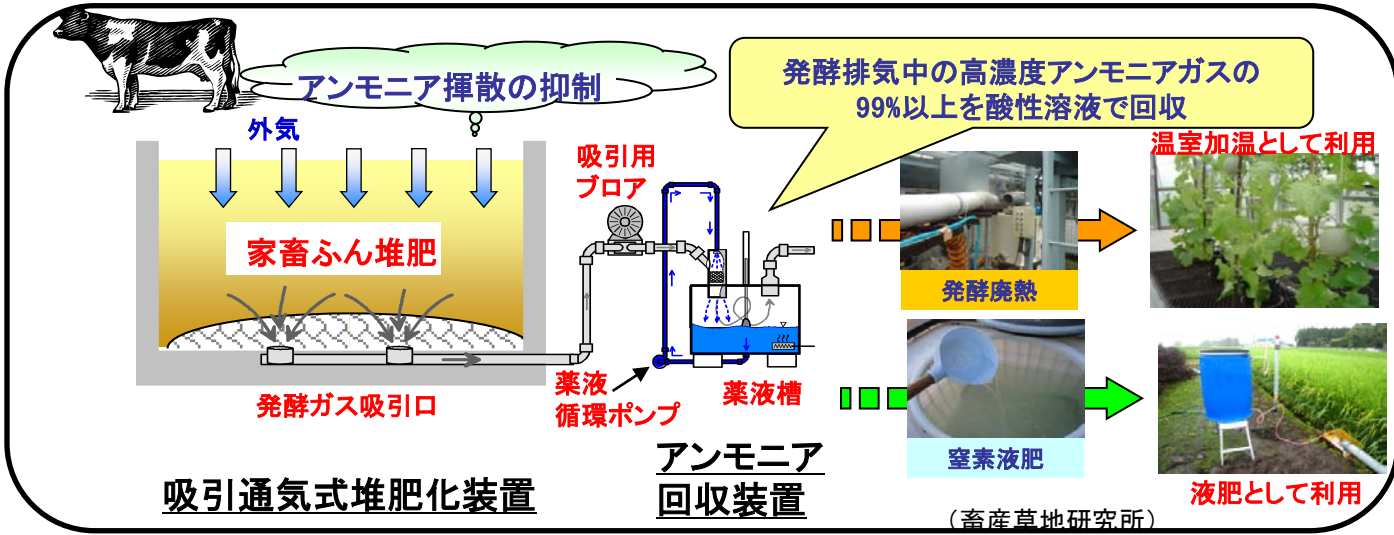
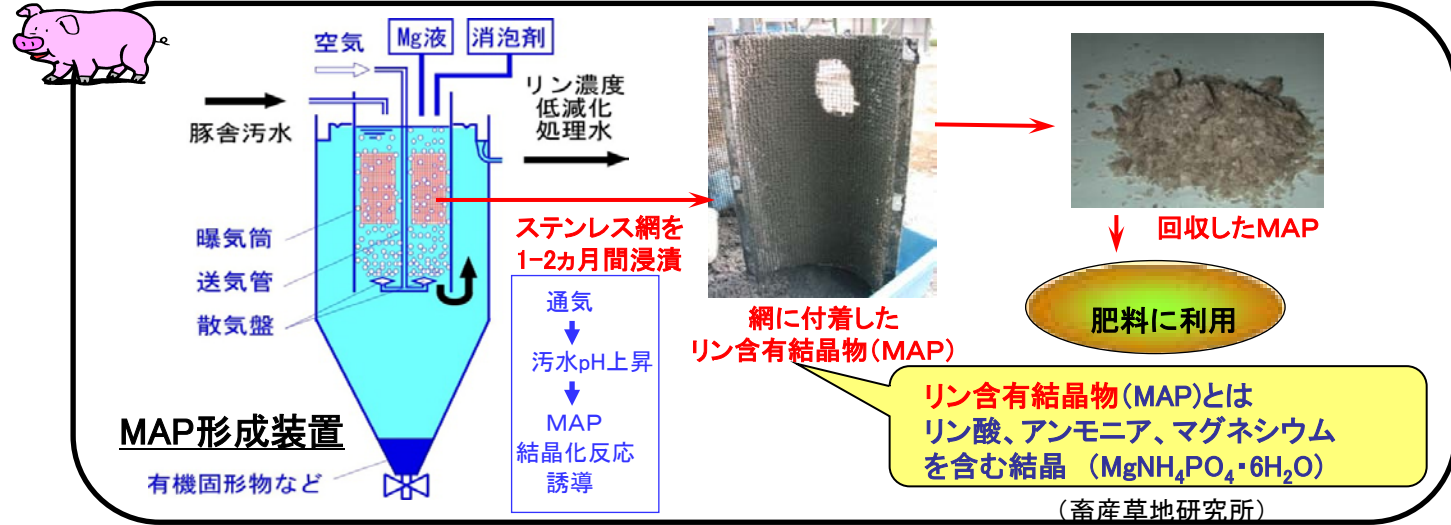
家畜ふん尿から回収した窒素(アンモニア)とリンを肥料として利用できる

研究開発の背景

豚舎汚水中に含まれるリンや堆肥化過程で発生するアンモニアを回収し有効利用することが望まれている。

研究成果の内容

豚舎汚水中に含まれるリンを結晶化して除去回収する技術を開発した。
堆肥化施設からアンモニア等を回収し液肥利用する技術を開発した。



研究成果を導入した場合のメリット

- 豚舎汚水1リットルから50~170gのMAPを回収し肥料として利用
- 堆肥発酵排気中のアンモニアガスの99%以上を回収し液肥として利用

導入をオススメする対象
畜産農家

開発担当機関: 農研機構 畜産草地研究所、農研機構 中央農業総合研究センター、佐賀県畜産試験場、佐賀県畜産技術センター、神奈川県畜産技術センター、神奈川県農業技術センター、沖縄県畜産研究センター、沖縄県農業研究センター、山形大学